

ダイバーシティ(diversity)は日本語に訳すと「多様性」。「スイッチ」は切り替えという意味です。三重県では、社会の中のさまざまな多様性を感じる講座を通して、自分の中の価値観や他者との違いに気づき、他者を思いやることのできる多様性社会に切り替えていく、気づきの場として「ダイバーシティ・スイッチ」を開催します。

ワークショップ

「職場・学校」「地域・家庭」で活かせる

「問い」からはじまるコミュニケーション

ダイバーシティ問いかけカード体験会

職場(ワーク)や地域(ライフ)などで「人間関係が難しい…」と感じたことはありませんか? コミュニケーションがうまくいかない背景はさまざまですが、個人個人が持つ偏見や価値観の違いが原因となっていることも多くあります。「人と人は違っていることが普通で、それがよい」ということに気づき、認め合い、心の距離が近づくためには「よい問い、を持つことも有効です。

このワークショップは、現在試作中の「ダイバーシティ問いかけカード(仮称)」を試し、一緒に考えていただく体験会です。思いやりのある関係性作りに役立つ話題提供もあります。また、カードが完成した際には、体験会参加者にも活用していただくことも検討中です。多様性社会を広げる取組を始めてみませんか。

●テーマAとBのいずれか一方にご参加ください。両日参加いただくことも可能です。

テーマA 組織・学校で活かす「問い」を考えよう

日時 2/9(火)13:30~15:30

企業や教育機関など、組織内でのコミュニケーションに課題を感じる人を主な対象として開催します。

【話題提供】菅生 ^{すごう}としこ氏 (株式会社AWESOME EYE代表取締役)

テーマB 地域・家庭で活かす「問い」を考えよう

日時 2/15(月)19:00~21:00

自治会、NPO、市民活動または家庭、友人関係などのコミュニケーションに課題を感じる人を主な対象として開催します。

【話題提供】片上 ^{かたがみ}聡一郎氏 (未来づくりラボ 共同代表/NLPマスタープラクティショナー)

各回共通 カード体験会ファシリテーター ^{かわきたあきら}川北 輝氏(津市NPOサポートセンター理事長)

開催方法 Zoomを活用したオンライン開催

※お申し込んだ方に開催2日前までに参加用URLをメールでお伝えします。
※ご参加にあたりZoom(5.3.0以上)のダウンロードまたは更新をお願いします。

定員 12名(先着順)

※ご参加にはお申し込みが必要です

きらり
ともに輝く、多様な社会へ



ダイバーシティ(diversity)は、日本語に訳すと「多様性」です。三重県では、一人ひとりが尊重され、多様性が受容され、違った個性や能力を持つ一人ひとりがよい意味でお互いに影響し合うことで、相乗効果を社会に生み出す「ダイバーシティ&インクルージョン」の意味も込めて「ダイバーシティ」の言葉を使用しています。三重県では都道府県で初めてダイバーシティ推進方針を策定し、取り組みを進めています。

詳しくは…

お申し込み方法

本講座には事前申込が必要です。右記の専用フォームまたはEメールのいずれかでお申し込みください。Eメールの場合は、タイトルを「ダイバーシティ・スイッチ申込」として「参加ご希望の回(2/9,2/15または両日)」「お名前」「ご所属(個人の場合は不要)」「電話番号」「メールアドレス」を本文にご記入ください。

※×切は各開催日の3日前または「定員が埋まり次第」です。

【Eメール送信先】csr@tsutaetai.jp (NPO法人Mブリッジ 宛)

